患者ID：　　プロトコール名：wPTX+Tmab　　投与歴：　初回　・　継続

患者氏名：　　投与開始日：平成　年　月　日　　前回投与日：平成　年　月　日

生年月日：

身長：　cm　　体重：　kg

体表面積：　㎡

確認印	プロトコール	書記	薬局 確認印	看護師 確認印	医師 確認印

メインボトル	薬剤名	1回量	規格・計量	回数→ 投与速度	日	日	日	日	日	日	日	日
① ポート開通確認用 生理食塩液10mlシリンジ：1本												
※A法（weekly）												
生食250ml	ハーセプチン 初回：4mg/kg	mg	60mgﾊﾞｲｱﾙ：（　） 150mgﾊﾞｲｱﾙ：（　）	90分以上								
生食250ml	ハーセプチン 2回目以降：2mg/kg	mg	60mgﾊﾞｲｱﾙ：（　） 150mgﾊﾞｲｱﾙ：（　）	90分以上								
※B法（tri-weekly）												
生食250ml	ハーセプチン 初回：8mg/kg	mg	60mgﾊﾞｲｱﾙ：（　） 150mgﾊﾞｲｱﾙ：（　）	90分以上								
生食250ml	ハーセプチン 2回目以降：6mg/kg	mg	60mgﾊﾞｲｱﾙ：（　） 150mgﾊﾞｲｱﾙ：（　）	90分以上								
1年＝52週投与												
※併用化学療法												
生食100ml	ｶﾞｽﾀｰ	20 mg	20mgｱﾝﾌﾟﾙ：1A	15分								
	ﾃﾞｶﾄﾞﾛﾝ	mg	8mgﾊﾞｲｱﾙ：（　）									
	ﾎﾟﾗﾗﾐﾝ	5 mg	5mgｱﾝﾌﾟﾙ：1A									
	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝｼﾘﾝｼﾞ	3 mg	3mgｼﾘﾝｼﾞ：1本									
生食200ml	ﾀｷｿｰﾙ（60～80mg/㎡）	mg	30mgﾊﾞｲｱﾙ：（　） 100mgﾊﾞｲｱﾙ：（　）	1時間以上（専用ルート）								
※ﾃﾞｶﾄﾞﾛﾝ：12mg以上（順次半減、最低1mgまで減量可）、（参考）初回：16mg、②～⑧：8mg、⑨以降：4mg												
※ﾀｷｿｰﾙ：200ml以上の生食 or 5%ﾌﾞﾄﾞｳ糖で希釈、1時間以上かけて投与												
※生食50mlフラッシュ				全開								

【処方（院内処置算定）】	下記該当欄にチェック							
・自己抜針用生理食塩液10mlシリンジ：1本								
・専用ルート（0.22μm以下フィルター付きライン使用）								
・								
・								

【院外処方（化学療法のﾚｼﾞﾒﾝとして含む薬剤）】	下記該当欄にチェック							
導入時ｲﾝﾋｭｰｼﾞｮﾝﾘｱｸｼｮﾝ予防：ボルタレン坐剤25mg/滴下開始30分前に1本挿肛								
※Day②以降の経口フォローは基本不要								
・								
・								

【自宅での副作用対応】	下記該当欄にチェック							
・（発熱時）：								
・（嘔気時）：								
・								
・								
・								
・								

【適応】
1. HER2過剰発現が確認された乳がん（IHC：3+、IHC：2+／FISH陽性）
   乳癌アジュバント、ネオアジュバント（アントラサイクリンレジメン先行投与後）
2. 重篤な心障害がない
3. 肝機能、腎機能、代謝排泄能は併用（化学療法の基準に準じる
   総ビリルビン：1.5mg/dL以下、AST/ALT：100U/L以下、クレアチニンクリアランス：60ml/min以上

【適応基準】
1. 75歳以上は個別に検討
2. PS、骨髄機能、肝機能、腎機能、代謝排泄機能は併用化学療法の基準に準じる
3. LVEF＞50%

※アントラサイクリン系薬剤の使用歴：
※胸部放射線照射歴：
※心不全、冠動脈疾患、高血圧、安静時呼吸困難：

標準スケジュール		Day 1	・	・	・	8	・	・	・	15	・	・	…	21	1
weekly ﾊｰｾﾌﾟﾁﾝ（計52回）	導入4mg/kg	↑													
	維持2mg/kg					↑				↑					↑
tri-weekly ﾊｰｾﾌﾟﾁﾝ（計18回）	導入8mg/kg	↑													
	維持6mg/kg														↑
□3投1休 □weeklyで12回連続投与		Day 1				8				15				22	(29) …
前投薬		↑				↑				↑				（↑）	↑
タキソール	80mg/㎡	↑				↑				↑				（↑）	↑

★投与基準不適合項目にチェック

【投与基準】	日	日	日	日	日	日	日	日
※白血球数：クール開始前（3000/1500以上）								
同一クール内（2000/1000以上）								
血小板数：75,000/mm3以上								
総ビリルビン：1.5mg/dL以下								
※AST/ALT：100U/L以下								
間質性肺炎または肺線維症を認めない								
多量の腹水、胸水を認めない								
感染を疑わせる38℃以上の発熱がない								
非血液毒性（食欲低下を除く）がGrade2以下								

<備考>

【減量基準】

白血球減少（好中球）	クール開始時	グレード2	3000～2000	回復するまで投与延期 ※グレード4：1段階減量
			（1500～1000）	
	同一クール内	グレード3	1900～1000	
			（990～500）	
血小板		グレード4	25000未満	1段階減量
末梢神経障害		グレード3以上		1段階減量（考慮）
その他の非血液学的項目		グレード3以上		1段階減量（考慮）

※神経障害出現時：薬物治療や投与延期を考慮
※心障害：無症候性徐脈では経過観察（ｱﾝﾄﾗｻｲｸﾘﾝ、ﾌﾟﾗﾁﾅ製剤の前治療例/併用例は要注意）

肝機能障害時

GOT・GPT：400未満　かつ　T-Bil：1.5～2.4	25%減量
GOT・GPT：400未満　かつ　T-Bil：2.5～6.0	50%減量
GOT・GPT：400以上　または　T-Bil：6.1以上	中止

確認印	計数	計量	立会監査	計数	計量	立会監査	計数	計量	立会監査
確認印	計数	計量	立会監査	計数	計量	立会監査	計数	計量	立会監査